

2024年1月12日

九州実務補習所
2023年期生 各位

一般財団法人会計教育研修機構
九州実務補習所運営委員会

第1回ディスカッションテーマについて

2024年1月19日(金)開催

2024年1月19日(金)に開催する「第1回ディスカッション」のテーマが、下記のように決定いたしました。

記載のテーマを読み、各自の考えをまとめてくるようにしてください。
なお、関連資料は各自で集めてくるようにしてください。

テーマ1 (フリーディスカッション)

公認会計士登録のための要件として、実務補習の修了が必要とされています。難関国家試験を合格したにもかかわらず、実務補習を履修する意義について、あなたの考えを述べてください。

加えて、シラバスの講義内容(指導目的)及び到達目標を読んで、特に期待する講義を3つ選び、その理由と具体的に何を習得したいかについて発表してください。

シラバスについては下記のサイトより確認してください。

なお、ディスカッション当日は会議室前方のスクリーンにシラバスを投影しますが、補習生も可能であれば、各自PC、タブレット、スマートフォン等でシラバスを随時参照できる状況にしておくことが望まれます。

■シラバス掲載ページ：<http://www.jfael.or.jp/ja/schedule/index.php>

公認会計士法

(公認会計士の資格)

第三条 公認会計士試験に合格した者(同一の回の公認会計士試験において、第八条に規定する短答式による試験及び論文式による試験の試験科目の全部について、第九条及び第十条の規定により短答式による試験及び論文式による試験を免除された者を含む。第十二条を除き、以下同じ。)であつて、第十五条第一項に規定する業務補助等の期間が二年以上であり、かつ、第十六条第一項に規定する実務補習を修了し同条第七項の規定による内閣総理大臣の確認を受けた者は、公認会計士となる資格を有する。

テーマ2（フリーディスカッション）

ChatGPT に代表される生成 AI 等、AI 技術の発達により将来的に会計監査の業務は無くなるという意見もあります。その一方で、公認会計士試験の受験者数は増加傾向にあります。

そこで、将来的に会計監査の業務が無くなるか否かについて、AI の優位性、人の優位性の観点から貴方の意見を述べなさい。

以上